短大だより

〔発行〕
東北女子短期大学
弘前市上瓦ヶ町25
TEL ㉜ 6 1 5 1
〔印刷所〕
有限会社新和印刷

平成二十五年度　学園祭
学園創立九十周年を噛みしめて

10月19日・20日に「飛翔～九十年の瞬間をこえて～」をテーマに、短大・栄養・コンピュータ専門学校三校合同の学園祭が開催されました。今年も多くの方々に来て頂き、学内は賑わいを見せていました。

短大生活科は「めざせ！健康あおもり」をテーマに、青森県の健康に関する現状や日頃食べている食品、食事をとりあげました。自分の身体に関わる展示や体験コーナーのほか、各課程の講義内容の紹介をしました。

保育科は「みんな集まれ！おもちゃの国へ」をテーマに、手づくりのおもちゃで遊べる場所や、絵本・紙芝居・手遊びの学生による実演コーナーなど、子どもたちが大いに楽しめる空間を設けました。

文化部は展示とステージ発表を行い、各部ともアイデアを練ったすばらしい内容となりました。特に体育館でのステージ発表は多くの来場者と共に盛り上がりました。

特別企画の「映画とディズニーの世界へ～弘前市吹奏楽団を招いて～」は、子どもから大人まで誰が聴いても心にしみわたる曲を演奏していただきました。会場は満席となり、大盛況でした。

さらに食堂・喫茶・販売では、好評の東短カレーライスや白玉ぜんざいなどのメニューがあり、来場者は満足した様子でした。その他、前後夜祭はカラオケ大会や炭酸早飲み競争、体育部の模擬店などで盛り上がりました。

専門学校校舎では、栄専校が「ＳＴＡＲＴ」～私たちに今出来ること～。コンピュータ校では「Do you know IT ？」と「授業制作」。そして「東コンゲームコーナー」～体験型ゲームで遊ぼう～のテーマで、各校が特徴を活かした展示を行い好評でした。

柴田学園が創立九十周年を迎え、節目の年に開催された学園祭も無事終了しました。今、私たちは、多くの人達に支えられながら、新たに飛び立つことができたように思います。ご協力頂きました学生、先生方、地域の皆様に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。

学園祭実行委員長
学友会会長　原子明日香
（生活科2年）

文化部ステージ発表
箏曲部「奏」～伝統の音色をあなたに～

平成25年度学園祭ポスター

生活科「めざせ／健康あおもり」

保育科「みんな集まれ！おもちゃの国へ」

栄養専門学校「ＳＴＡＲＴ」
～私たちに今出来ること～

コンピュータ専門学校
「Do you know IT ？」「授業制作」
「東コンゲームコーナー」

学所長感

地域との繋がりを生かして

今村吉彦

私立短期大学は地域に根差した身近な高等教育機関であるといわれています。それは、学生の約90％が女子であることから、自宅から通学し、自県内に就職する学生が多い事や、修業期間が短く、4年制大学などと比較してみると学費の負担が少ないことなどからそう言われているのかもしれませんが、私立短大は、地域貢献と教育の機会均等の実現のために広く高等教育の場を提供しています。

今年度の我が国は、長引くデフレ脱却と経済再生に向けて大胆な金融緩和と機動的な財政政策を実行しており、東京オリンピック開催準備や企業の賃上げ基調などによる経済の活性化がこれからも続き、安心で豊かな国民生活が確保されることになれば、学生の皆さんにとってもより具体的な未来設計図を描くことができる世の中が到来すると思います。

地域社会の再生と活性化を力強く進めていくために必要な要素として、手段や資金などさまざまなものがある事は間違いありませんが、忘れてはならないのはその地域が求めている大きなニーズが何であるのかを理解し、その分野でリーダー的役割を果たしうる人材であると思います。地域コミュニティの衰退は大きな問題であり、コミュニティの一員である私たちにとっては回避しなければならない最優先事項ではないかと考えます。日本政策金融公庫という財務省所管の機関の調査によりますと、青森県の高校入学から大学卒業までに必要な年収に占める「教育費」の割合は47・7％（全国平均40・1％）に上り、沖縄を除く46都道府県で5番目に高い水準になったとの発表がありました。食費など生活必需品を節約することで工面しているとの記載もあります。教育費の負担の在り方については、今議論が始まっていますが、そういう問題を根本から解決するためにも、地域の中で強みを生かし、時代の変化に対応できる人材の育成ほど大切なものはないのではないかと感じます。

皆さんも在学中はいろいろな機会を通じて地域との繋がりを実感することになるでしょうから、ぜひこれらの事を自分自身の力で考えてみて欲しいと思います。

第五十二号 紀要掲載論文

《研究題目と執筆者》

保育・教育実習生の共感力を高めるための自己評価に関する一事例における考察
佐々木典彰・島内智秋

森　和彦
味覚検査とその考察
―同年齢及び年代別の検査結果から―

松宮ゆり・宮本万里
栄養士養成課程における献立作成の基礎力向上を目指して（第2報）―体験型学習法の検討―

中島里美・真野由紀子
栄養士養成校の学生における調理実習の指導方法に関する研究
―習熟度自己評価と設定目標から―

安田智子・澤田千晴
宮地博子・北山育子
幼児体操の特性と内容構成に関する研究（第1報）
―戸倉八ル考案の幼児体操の取り組みと学生の意識について―

田中　恵
パナソニックの企業分析（Ⅲ）
―多国籍化と組織戦略―

兼平拓道
学びにつながる保育空間とは
―オランダの幼児教育法からⅡ―

兼平友子
青森県における行事食に関する調査研究
―津軽地域のお盆の行事食について―

澤田千晴・安田智子
下山春香
青森縣師範学校編輯「養生抄言」の一考察
―主に栄養・食生活の観点から―

鎌倉ミチ子

第三号 年報

《題目と執筆者》

Ⅰ．研究・教育の活動報告

〈教育の実践に関する報告〉

わらべうたを保育の中に生かす方法を探る
教職実践演習「地域文化への関わり」をとおして

西谷紀久子
リズミカルな身体育成につながる基本ステップの導入過程について

田中　恵
学生と絵本をつなぐ「ブクログ」
クラウド型読書管理サービスを利用した学内絵本情報共有サービスの提供

小山尊徳
カルボーネン法を用いた10分間走の試み

佐藤睦子

〈研究の報告〉

70歳から74歳までの医療費窓口負担引き上げについて

小野美沙子
Ⅱ．自由報告
「読書に関するアンケート」結果について
―今後の図書館運営と取組みのために―

笹森雅子
文化芸術による地域振興について

小山尊徳
ACアワーの試行について

FD委員会
Ⅲ．公開講座・出前講座の報告

〈公開講座の報告〉

国文学をのぞいてみよう！
～源氏物語をかじる～

佐々木昭則
社会学をのぞいてみよう！
～人間関係を科学する～

西　敏郎
通園・通学グッズを手作りしましょう

宮野洋子
CGでプリント布地をつくってみませんか
～花柄編2～

宮野洋子
エプロンを作りましょう

宮野洋子
オリジナルストールを染めましょう！

町田秀子

’13公開講座(22)

今年度は公開講座を前期（6・7月）と後期（11・12月）に分けて行い、10講座が実施されました。

調理実習系では、毎年人気の高い『「おいしい津軽のおかず」を作りましょう』が2回行われ、いかのお寿司、蓬餅等を作りました。またアシスタントの学生と受講者たちの良い交流が持てました。

被服製作系では『CGでプリント布地を作ってみませんか』、『エプロンを作りましょう』、『ストールを染めましょう！』の講座が行われ、個性が溢れる作品ができあがり、「またやってほしい」と多数の声があがりました。

座学系では『国文学をのぞいてみよう！』『心理学をのぞいてみよう！』、『社会学をのぞいてみよう！』の講座が行われ、それぞれ、平安時代の人々の現代にも置き換えられる恋愛模様や、人の錯視やる気のメカニズム、社会と人との不思議な影響力について知ることができたようです。

その他、学びながら実際に試食ができる『あなたの一日の食事量！』や『バランスガイドで食事診断』の講座では、受講者たちは普段の食事の塩分量やカロリー量について正しく理解でき、食生活を見直す良い機会となったようです。

バランスガイドで食事診断

延べ180人を超える方々に受講していただき、本学の知的資源の一端を市民の皆様に還元できたと思います。

バランスガイドで食事診断
中島里美・下山春香
〈出前講座の報告〉
思春期の子どもをもつ保護者への調理講習会
澤田千晴・宮地博子

キャリア支援

今春卒業生の進路は、地元への就職を希望する学生が多いなか、粘り強くトライして内定を得ており、昨年並みに推移しています。

1年生も12月から始まった会社説明会に参加する学生が例年よりも多く、積極的に取り組む姿が見られます。また、「就職ガイダンス」では、2年生が就職活動の体験を話し、目の前にせまった就職活動に1年生は真剣なまなざしで聞いていました。

内定した2年生からメッセージが寄せられました。

事前準備が大切!!

佐藤綾香
（生活科2年）

私はシダックス株式会社に栄養士として内定しました。

面接試験では、前もって予想されることを先輩の試験内容を調べて準備をし、練習して臨みました。緊張しましたが、気持ちに余裕を持つことができ、落ち着いて話しをすることができました。

1年生の皆さん、残りの学生生活を悔いのないように過ごしてください。

授業で学んだことを参考にして

佐々木郁美
（保育科2年）

私は「キャリア基礎演習」の授業で学んだことを参考にして、たくさんの園を調べて就職活動を進めていきました。その中で、迷ったり、悩んだりしましたが、先生方が熱心に相談にのってくれました。自分が希望していた園から内定を頂いた時は、とてもうれしかったです。保育士として頑張ります。

「生活科卒業生の懇親会」を東京で開催

近年首都圏への就職が急増した現状を踏まえ、就職先訪問を兼ねて生活科卒業生懇親会を昨年8月上旬に開催しました。過去5年間で首都圏への就職者は約50名で、そのうちの18名が新宿センタービルに集合しました。同じ会社勤務ではあるが面識がなかった卒業生同士が和気藹々と盛り上がり、先輩が後輩の悩みなどを聞いたり、他職種の同期生や教員との再会を喜び、学生時代を懐かしむ様子などが見られ、終始賑やかで楽しい会でした。卒業生たちは都会で元気に働き、キャリアを積み上げており、今後の活躍が期待されます。

なつかしい顔・顔・顔―。

図書館だより

○本の紹介

童心社1967年発行

『いい　おかお』

文・松谷みよこ

画・瀬川康男

版画風に描かれた黒ねこが、横目で何かに興味津々なようです。ページをめくると、お星さまの模様のお洋服を着た女の子がちょこんと座っています。名前は「ふうちゃん」。まつげをそろえておめめをつぶっています。そのすました表情に思わず、"ふふっと"笑ってしまいます。それがまた「いい　おかお」なんですね。

すると「いい　おかお」をみせてって、表紙の黒ねこがやってきます。いぬがきて、ぞうさんがきて、みんな、ふうちゃんのまねっこをして「いい　おかお」でとなりにちょこん。

今度は、おかあさんが、やってきて、ビスケットをくれます。みんなのおすまし顔に「おいしい」がいっぱいにひろがりました。「あ　おいしい　おいしい。おいしいはどーこ」

みなさんの、「いいおかお」って、どんなおかおですか？

どうぞ、絵本をめくって「ふうちゃん」に会いに行ってみてください。

学生課　兼平拓道

シリーズ ある日の授業

食中毒をよく知り予防する

生活科1年「食品衛生学」　担当　三上　健

昔ウェルシュ菌の食中毒になったことがあります。ある有名なホテルで盛大に行われた後輩の結婚式で、参列者は二百名を超えていました。その日の夜中に、猛烈な腹痛と下痢に襲われ、数十回トイレ通い、朝には何とか落ち着きました。職場に行ってみると大騒ぎで、ほとんどの参列者が私と同じ状況でした。保健所の職員から参列者全員が食べたものを聞かれ、検便が行われました。

食中毒の原因食品は、茶わん蒸しにかけたあんが原因でした。あんを事前に作っておき、茶わん蒸しが出来てから、あんをかけて保温したそうです。提供されるまでに菌が増えて、食中毒を引き起こしました。

ほんの些細な注意不足が原因で大規模な食中毒は起こります。

「食品衛生学」は、食中毒を予防するためにはどうするべきかを学びます。つまり食中毒を起こす原因食品にはどんなものがあり、その症状や潜伏期間などです。さらに、消毒方法や、食中毒発生時の法的措置なども含まれています。栄養士資格取得には必須ですが、衛生的な生活をするのに必要な「教育即生活」の知識となる科目です。

授業風景

「調理実習（１）」　生活科１年　和食のこころ － おせちを作る －

「英語（Ⅰ）」　保育科１年
英語の絵本の読み聞かせ

「教育方法・技術」　保育科２年
デジタル紙芝居の製作

「現代作法学」　生活科２年
おもてなしの気持ちを……。

「被服学」　生活科２年
編み物の基本組織とは。

「保育実践演習」保育科２年
劇・ミュージカルに取り組む

♣となりのトトロ

♠アラジン

♦美女と野獣

♥シンデレラ

学生生活あれこれ

学友会　立会演説会

送別会
先輩 ありがとう

カフェテリアの昼食

♪リズムもぴったり　軽音楽部

秀芝寮のクリスマス会

保育科１年　体育集中指導（スキー）
上手にすべれたかな？

学 園 祭

生活科展示
インスタントラーメンのアレンジレシピを紹介

生活科食堂「満天！東短レストラン」
名物の「東短カレー」はいかがですか～

保育科展示
立体パズル。何ができるかな？

保育科喫茶「キティ♥ハウス」
２日間とも大盛況

体育部の模擬店
豚汁もみそこんにゃくもおいしくできたよ！

弘前市吹奏楽団による演奏
～映画とディズニーの世界へ～

書道ガールズの力作と華道部のコラボ

日本舞踊「名刀風林火山」

学友会

新役員決まる

平成25年度学友会役員の任期満了にともない11月25日の選挙で左記のように新役員が選出されました。

会長　葛西　友梨（生活科）
副会長　尾田　梓（保育科）
副会長　長根山　桃（生活科）
総会議長　坂倉奈緒子（生活科）
副総会議長　千葉亜紗美（保育科）
代議員長　佐々木裕賀（生活科）
副代議員長　佐藤　靖子（保育科）

会長より任命された執行委員、ならびに文化部及び体育部の部長会議において推薦された部会長、副部会長は次の通りです。

会計　畑中　秋穂（生活科）
　　川村明日香（保育科）
記録　工藤　佳菜（生活科）
　　三澤　静奈（保育科）
企画　成田　有李（生活科）
　　川口眞亜子（保育科）
庶務　菅原　愛（生活科）
　　太田真理奈（保育科）
文化部長　佐藤　果歩（保育科）
副文化部長　小田桐万莉奈（生活科）
体育部長　菊地　由香（生活科）
副体育部長　兼平　美波（保育科）

（後列）左から　成田有李・川口眞亜子・兼平美波・菊地由香・畑中秋穂・川村明日香
（中列）左から　工藤佳菜・三澤静奈・菅原愛・太田真理奈・小田桐万莉奈・佐藤果歩
（前列）左から　佐藤靖子・佐々木裕賀・尾田梓・葛西友梨・長根山桃・坂倉奈緒子・千葉亜紗美

新会長
抱負を語る

学友会会長
葛西友梨
（生活科1年）

私は期待に胸躍らせながら入学し、行事を重ねるたびにクラスメートとの絆を深め、楽しく過ごしていました。

その行事運営をしている先輩の姿を見て、私もそんな活動を先頭に立ってしてみたいと思い立候補しました。

前会長の原子さんから重みのあるノートを引き継ぎ、改めて会長としての自覚と責任を感じています。すでに新役員で動き出していますが、まだまだわからないことばかりで先輩からの助言を頂きながら進めています。

学友会は19名の役員と執行委員が中心となっていろいろな行事を企画・運営していきます。学生の皆さんが楽しく充実した日々を過ごせるように、交流したての仲間達と行事を通して切磋琢磨して盛り上げていきたいです。

コンソーシアム共通授業に参加して

10月10日から12月12日にかけて開かれた、コンソーシアム構成6大学の共通授業を受講しました。ヒロロ4階の市民文化交流館ホールで毎週木曜日の午後6時30分から8時まで全10回にわたり行われました。

この共通授業は「地域が抱える問題とは？」というテーマについて弘前市長と弘前市職員の方々の講義を受けたあと、グループディスカッションをして意見発表をするというものです。6大学から集まった約50名の学生たちが、弘前市の課題を具体的に理解し、その解決について熱く討論しました。

参加のきっかけは、先生からの紹介でした。学生生活を有意義に過ごすにはどうしたらいいかと悩んでいたところ、共通授業の存在を知り、興味を持ちました。そこで、不安もありましたが、友人を誘って参加を決めました。

中央が木村玲伽さん

参加してみて、他大学の学生のみなさんと、毎週さまざまな話し合いがされ、自分ひとりでは考えつかないような意見やアイディアがたくさん出され、とても勉強になりました。授業が最終回に近づく頃にはまだまだ続けたいくらいの気持ちになりました。

私は共通授業を通して、弘前が抱える様々なことに対して問題意識を高めることができました。また、人とのコミュニケーションやプレゼンテーションの仕方などが身に付き、自分の糧になったように思います。

保育科1年　木村玲伽

短大・専門学校同窓会
「柴田やす先生を語る会」

学園祭初日に同窓会室で、弘前支部主催による柴田学園創立、「柴田やす先生を語る会」が開かれ、年代の異なる20数名の同窓生が参加しました。

お話をして下さった方は東北女子専門学校被服科を昭和24年度に2回生として卒業された三枝玲子さんです。

三枝さんは柴田やす先生から直接教えを受けられた方で、先生を「厳しい中にも暖かさと優しさを持っていらした」と偲び、「学校で学んだことは結婚してからも役立つ」と話されました。

学園で身につけた教育を生活の中に生かす大切さを改めて感じた会となりました。

弘前支部長　木村守克

左側が三枝玲子さん

思い出の学生生活

実習で学んだこと

保育科2年　福島純子

私は8月に保育園で2週間、9月に幼稚園で3週間の教育実習をしました。実習前は、自分が保育者という立場に立って子ども達を保育できるのか不安でしたが、実際に子どもに接してみると自然に会話がはずみ、とても楽しく行うことができました。

実習中に私が一番悩んだことは指導案の作成でした。年齢に合った活動や、どうしたら子どもが楽しく取り組めるのかを考えるのは意外に難しく、夜遅くまでかかりました。それでも、実際に子どもの喜ぶ姿や楽しむ姿を見た時は、苦労もどこかへとんでしまいました。また体育遊びや誕生会、遠足などの行事も体験し、保育者としての配慮も学ぶことができました。

かわいい子どもたちに囲まれて

今は就職も決まり、春からは地元で保育士として働きます。実習で学んだ保育技術や社会人としての責任感・マナーを活かして、頑張っていきたいと思います。

楽しみだった調理実習

生活科2年　岩谷美穂

短大生活は、とても楽しいことばかりで幸せでした。あっという間に2年がたってしまい卒業するのは寂しいです。入学時には、秋田と津軽の方言の違いに、驚いたり驚かれたりでしたが、そのことがきっかけで多くの友達ができました。

また、私は食べるのが大好きで、毎週の調理実習がとても楽しみでした。毎週新しいメニューと食材の特徴などを学び、班のみんなと協力して美味しくできた時はほんと幸せ！。もう最高！。家でも作っていい復習にもなったし、家族みんなが喜んでこれまた幸せ！。一年生の皆も今を思いっきり楽しんでほしいな！。先生方、みんな楽しい思い出をありがとうございました。4月からは、新しい職場で料理を覚えることを楽しみにして仕事を頑張ります。

元気な仲間たち
中央（下）が岩谷さん

熱中したバスケットボール部

生活科2年　久野由佳

私は、小学校からバスケットボールを続けてきました。

短大に入学してバスケットボール部に入部し、栄養士の資格の勉強とともに、短大生活を充実させようと考えていました。

バスケットボール部は、初めは部員が少なくて不安でしたが、すぐに先輩とも打ち解けることができました。部の目標であったインカレでの一勝ができ、この時の嬉しさは、今でも忘れられません。

2年生では部長になり、部員とぶつかる時もありましたが、インカレが近づくにつれて全員の気持ちが一つになり、練習にはげみ、チーム力を高めることができました。

2年間の部活動で物の見方や人との接し方などを学び、私を成長させてくれました。

体育大会で活躍　左から2番目が久野さん

学びの軌跡

保育科2年　佐藤梨乃

「保育の教科書には計算がない、公式もない。あるのは子どもの未来につながる夢」、それが第一印象でした。保育者は上手に絵が描け、ピアノが弾け、子どもが好きであれば良い、という私の浅はかな予備知識は、見事に覆されました。

理論の授業では、子どもの行動や子どもが笑顔でいられる保育を探る日々が続きました。また専門教科では「吸綴」「リトミック」など真新しい言葉の連続に悩まされました。そんな時、同じ夢を持つ仲間と先生方の支えがあったからこそ、私は保育の道に進むことができたと思います。

今ノートを見ると、白かったページは書き込みで黒くなり、読みすぎて折れてしまった所もちらほら・・・。この学びの軌跡は私の誇りであり、自分の未来への礎となると自信を持って言えます。

短大での思い出は、困難に立ち向かう勇気を私の心に灯してくれました。

♪子どもに合わせて… サン！ハイ！

生活科　アイディアを生かした活動

スーパーマーケットで食育活動

2年「栄養士実務演習」の授業の一環として、地域での健康支援と、学生の体験学習を目的に、昨年11月から今年1月まで3回にわたって、スーパーマーケットのくつろぎコーナーにて、食育活動に取り組みました。

がんや高血圧と深く関係のある「1日に必要な野菜の量とはたらき」と「あなたの家のみそ汁の塩分は？」をテーマに2回実施しました。また「体を動かして健康になろう」では、今話題のロコモティブシンドローム（ロコモ）の説明や予防のための運動指導等を行いました。立ち寄ったお客様や子ども達に絵やパネルを使ったり、一緒に運動したりして具体的に説明しました。学生はこの体験から、一般の方に興味を持ってもらうための工夫や、買い物に来たお客様に足を止めて聴いてもらうことの難しさを学んだ様子でした。

ロコトレコーナー　ロコトレを一緒にやってみましょう

カフェテリア　ジブリランチ提供

12月に生活科1年のカフェテリア実習でACアワー「みんなのジブリ」とコラボでジブリ飯を提供しました。『天空の城ラピュタ』の「トースト」や『ハウルの動く城』に登場する「ベーコンエッグ」などのジブリ映画に出てくる料理を再現し映像や音楽が流れる中で食べました。当日のメニューは人気があり、昼休み時間は多くの学生や教職員でにぎわっていました。実習生は、いつもより食数が多いにもかかわらず、楽しんで取り組んでいたようでした。

楽しみにしていました!!

新企画　ACアワー　始めました！

「ACアワー」を知っていますか？ACアワーとは、授業でもない、部活でもない、学生と教員による新しい活動の名称です。

具体的には、学生と教員が一緒に、一つのテーマについて、話し合ったり、考えたり、調べたり、出かけたりします。この時間では、正解が見つからないで、むしろ、正解がない、あるいは全て正解になる可能性もあります。要するに、ACアワーはとても自由な学びの活動なのです！

このACアワーのねらいは何かと言うと、それは、学生のみなさんに、自分から進んで学ぼうとする機会を提供したいというところにあります。今年度実施されたACアワーを一つ紹介しましょう。

「東北女子短期大学PVを作ろう！」では、AKB48「恋するフォーチュンクッキー」をもとに、短大オリジナルのPV（プロモーションビデオ）を作りました。学生のみなさん主導で全てのことを進め、途中、他のメンバーへの出演交渉の難しさや、チームワークの大切さなどを実感しながら、見事完成までに至り、とても魅力的な作品になったようです。

「東短ＰＶ」のワンショット

ＡＣアワー参加者募集のポスター

他にも子どもアニメ、芸能、自動車、製作などさまざまなテーマでACアワーが行われました。みなさんはどんなテーマに取り組んでみたいですか？気になるテーマがあったら、ぜひ教えてください！

（FD委員会　佐々木）

弘前とわたし（17）

保育科2年　横山智子

高校まで三沢で育った私は、小さいときからの夢であった保育士になるために本学に入学しました。初めての場所、新しい生活に戸惑うことも沢山ありましたが、寮や学校の友達が増えると共に緊張もほぐれていきました。

弘前の街並みはとても綺麗で、おしゃれな店も沢山あり、休日には自転車に乗っていろいろな通りを探索することが楽しみでした。

2年生になり、学友会の役員になってからは沢山の仲間が増え、充実した毎日でした。

私が弘前で好きなところは、四季を様々な祭りを通して感じられるところです。この2年間で季節ごとの祭りを友人とたっぷり楽しむことができました。その中でも、桜祭りで見た公園の桜の花の美しさにはとても感動し、沢山の写真を撮ったことも良い思い出です。

卒業して弘前を離れますが、弘前で出会った仲間、沢山の思い出や経験を大切にして卒業しても頑張って行きたいと思っています。

弘前公園下乗橋で
右が横山さん

編集後記

寒さがゆるみ、春が待ち遠しいこの頃です。

本号は、新しい企画のACアワーや学外での食育活動の記事も掲載しました。活気に溢れた学生のようすが伝わってきます。

今後、学生生活で得たものを糧として多方面で活躍することを祈念しています。

（学生課　工藤）